

としょかんだより



令和5年5月30日 女池小学校図書館 R5.No.2

図書館の使い方や約束などを説明するオリエンテーションが終わり、1年生も図書の間だけでなく、休み時間にも本を選び借りています。本のバーコードを揃えて階段状にして、カウンターに出すことも、1年生には初めての経験ですが、上手に揃えて「借ります！」と言えるようになってきました。「買います」と思わず言ったお友達。バーコードを読み取る「ピッ！」という音は、スーパーのレジとそっくりで、ほほえましいエピソードでした。

また、新5年生の図書委員さんを加えた第2回の委員会も終わり、休み時間のカウンター当番も始まりました。5年生、6年生の図書委員さん、1年間、女池小学校の子ども司書さんとして「みんなの図書館」のために委員会活動をよろしく願います。

👀チャレンジしてみませんか？👀

学年ごとのおすすめの本や「シリーズはかせ号」にチャレンジするお友達が増えています！

★おすすめの本・・・貸し出しカードにはさんである「図書館利用案内」のうらに、学年ごとの「本はともだち」がのっています。「読みたい本がないな」と思ったら、ぜひ、「本はともだち」で紹介されている本を手にとって、知らない世界を楽しんでもらえたらと思います。1冊の本を学年のみんなで読むことになるので、貸し出されていることが多いと思いますが、あきらめないで図書館に借りにきてくださいね。全部読んだ人の名前を、1年間、図書館前廊下の掲示板に貼り出しますし、ポイントカードにスタンプを押してプレゼントします。

★はかせ号・・・2年間で「ぐりとぐら」や「だるまちゃん」など図書館おすすめシリーズの本を全部読んで、見事「はかせ」になった人を、毎月、図書館前廊下の掲示板で発表します。また、認定証がもらえますので、楽しみながら挑戦してください。シリーズがある本を選んで、自分で作る「はかせ号」もあります。読み終えたら、ポイントカードにスタンプを押してプレゼントします。



👀としょかん3つのやくそく👀

オリエンテーションお話しする内容は、学年ごとに少しずつ異なりますが、すべての学年でお話しするのは、貸し出しカードに書いてある「としょかん3つのやくそく」です。これは、1年生から6年生まで、みんな同じやくそくで、それは、全ての図書館での約束でもあるのです。また「本を戻すことが一番難しいことなのです」とお話ししました。図書館の本は、みなさん全員の本です。本を戻すときは、次に読む人に、「おもしろかったから読んでみて」と、バトンを渡すような気持ちで、ラベルに書いてある記号の場所(本の住所)に、ていねいに返しませう。ひとりひとりの気遣いで、みんなが気持ちよく利用でき、本を通して心がつながっていくような図書館になったらいいですね。

👀こんな本ありますか？👀

「この本ありますか?」「野菜の育てかたの本はどこですか?」「“913か”の棚にあることになっているのにないです」などなど、みなさんから毎日、さまざまな質問がよせられます。

去年は1年生のお友達から、「長谷川等伯の松林図屏風の本」という問い合わせがあって、調べていくと、作品が載っている美術書が図書館にあり貸し出ししました。

また、先日は「前に先生が読んでくれた女の人の絵本」という質問がありました。これだけでは手掛かりが少ないので「どんな女の人の人だった?」と聞くと、「扇子を持っている女の人の人」と話してくれました。「あ!それはもしかしたら『たかこ』かな?」と絵本の棚に一緒に行くと、ちょうど並んでいて、「これかな?」と手渡すと、「そう!」でした。

十二単を着て扇で顔を隠している転校生の「たかこ」。隣の席のぼくとは仲良しになりますが、昔風の言葉で話したり、みんなと違うたかこをよく思わない子もいました。そんなとき、遠足で雨と雷にあったクラスのみなを救ったのは。。(文:清水真裕、絵:青山友美、童心社)。



みなさんの質問から本を見つけるのは、探偵のようで楽しいです♪♪



本を棚の前の縁に揃えて並べる[棚磨き]を、図書館の時間にやったださるクラスもあります。本もぴかぴか☆ご協力ありがとうございます。